



2017年 11月 29日

安心して子どもを生み育てられるよう

保育の公的責任の堅持と保育施策の拡充を求める請願書

犬山市議会議長

ピアンキ・アンソニー 殿

請願団体

犬山市保育を守る会

請願代表者

住所

氏名

犬山市
保育を守る会
以下 1,202 名

紹介議員

水野正志
岡 真樹

請願主旨

昨年、待機児童の増加と保育士不足が社会問題となり、政府は次々と、規制緩和と保育の「市場化」に向けての施策を打ち出してきました。全国の各自治体では、公立施設の大幅な統合整理、民間移管、小規模保育事業への依存など、未来を考えない保育編成を進めようとしています。保育士不足の原因は、保育士が働き続けることができない労働環境や賃金水準にあることも明らかになっています。

犬山市では、少子化や、施設の老朽化などにより、公立子ども未来園(13園)の整備にあたり、統廃合、民営化などを挙げ検討を進めています。また 2018 年度からは、子ども未来園(犬山幼稚園を含む)14園中9園で、給食の業務委託が計画されていますが、保育の公的責任の堅持という視点からも慎重な対応を求めます。委託する場合も、業者の引継ぎ期間中はもとより、委託後も保護者に向けて見学会や試食会などを開いていただきたいと考えています。

多くの保護者は安心して預けられる認可保育所と児童クラブ(学童保育所)を求めています。

私たち犬山市保育を守る会では、「働きながら安心して子どもを生み育てられる」という基本的な立場から、犬山市において引き続き、公的責任で子どもたちの人権を尊重し、その健やかな育ちを最大限保障しうる保育・学童保育施策が実施されることを願って、以下について請願いたします

取り扱い団体

犬山市保育を守る会
犬山市職員労働組合



請願項目

1. 保育園の給食業務は市の責任において実施してください。
2. 給食調理の業者決定後、引き継ぎ期間中を含め、保護者向けに試食会や見学会などの機会をつくってください。
3. 公立保育園・幼稚園を維持し、安定した保育が継続できるよう、民営化はしないでください。
4. 病児保育を実施してください。
5. 保育士などの賃金の底上げや職員配置の改善を行い、少なくともクラス担任は正規職員を配置し、保育士不足を解消してください。

この署名用紙は厳重に保管し、集約後議会に提出します。

請願以外の目的に個人情報を利用されることは一切ありません。

※基本的に自筆です。その場合は押印は不要です。家族など代筆の場合は、印鑑の捺印をお願いします。